

2014年度事業報告書

特定非営利活動法人まち・コミュニケーション

【2014年度の活動の総括】

2014年度も多くの方々に支えられ、活動を行うことができました。おかげさまで、任意団体時から数えると19年間継続することができています。益々組織基盤を強化し、活動を継続できるよう、2014年度は認定NPO法人申請準備、手続きを行いました。（※2015年2月3日認定）

各事業について、下記で報告させていただきます。ご指導よろしく申し上げます。

【事業報告】

●まちづくり部門

・被災地復興支援事業

東日本大震災の被災地で、支援活動を行いました。宮城県石巻市に滞在し、雄勝町を中心に石巻市・宮城県にて、地域の会合や催し等に参加し、復興計画を把握すると共に、地域住民の生活再建を聴き取り調査で追い、地域住民の声を聴き現状を把握し、当事者と共に復興を考えました。

震災から4年目をむかえ、生活再建は一人一人異なっており、状況把握も難しくなり、生活再建に取り組む被災当事者が、“何に失い”“何を取り戻すのか”が、他の外部支援者にはわかりにくくなってきています。当団体が、20年間阪神・淡路大震災の被災地に常駐し、地域の人々の心の機微を感じながら、継続的に復興まちづくり支援をしてきたノウハウを伝える重要性も感じ、地元大学が事務局を担う復興大学や、社会福祉協議会や地元ボランティア団体等からの復興まちづくりの相談を受け、当団体のネットワークを活かして支援を行いました。

日	活動内容
1/25、3/5、4/13、5/19、5/30、 6/3、6/5、6/25、6/27、7/23、8/12、 8/16、8/27、9/8、	地域の会議や説明会、集い、祭りに出席
1/27、3/4、3/8、3/9、4/8、4/11 4/15、4/17、4/25～27、4/29、5/2、 4/30、5/14、5/18、5/19、5/20、 5/28～5/31、6/19、6/21、6/30、 8/14、8/27～29、9/1、9/6、9/14、 9/17～19、12/23、12/25、12/29	ヒアリング調査、情報収集
1/29、4/19、4/22～24、4/28、5/3、 5/20、6/24、7/8、7/11、	地域（団体・個人）からの相談や打合せ

2/6、2/8～2/10、3/3、4/6、6/21、	個人の住宅再建支援
2/10、6/21、7/19～21、11/8	専門家への相談
2/21、6/26、12/28	漁師への調査等
5/22、7/4、7/12、	情報発信・提供



▲ 2月21日



▲ 8月27日

・地域まちづくり支援事業

神戸市長田区御蔵地区におきまして主に、1月17日の慰霊法要の開催支援と、御菅西地区再建状況調査を行い、その結果を「季刊まち・コミ」秋号でご報告いたしました。NPO法人2団体（神戸市内1団体、県外1団体）からのNPO法人の運営相談に応じました。また、農にまつわる住民交流の企画者からのヒアリングを受けました。

・まちづくり研究調査事業

大学生や学識経験者などを現地（神戸市、宮城県）で受け入れ、調査視察コーディネート・支援を行いました。また、阪神・淡路大震災20年の復興まちづくり等取材するマスコミに対しての情報提供も行いました。

関東都市学会からニュース発送と会費請求作業を受託し、2月、5月、9月、10月に行いました。

調査視察コーディネート・支援

日	属性	テーマ
1/17	NPO法人レスキューストックヤード	神戸：震災19年目のまちあるき
5/25	徳島県美波町職員	東日本：雄勝町の現地視察
5/29	首都大学東京・学生	東日本：住民聴き取り調査
5/31	東北大学ボランティア室	東日本：ボランティア学習ツアー
6/1	日本弁護士連合会有志	東日本：雄勝町の現地視察
6/3	仙台市住民	神戸：街の復興について
7/18	陸前高田住民	神戸：区画整理事業について
8/16	東洋大学	東日本：住民ヒアリング

9/15	関西大学・ゼミ	東日本：雄勝市街地案内
10/10	徳島大学	東日本：雄勝町の現地視察
10/12	災害ボランティアチーム(広島)	東日本：雄勝町の復興状況について
12/初～ 中旬	神戸大学	東日本：仮設住宅アンケート調査協力

● 学びの場づくり部門

・ 震災体験学習事業

2014年度は、6校の受け入れを実施いたしました。近畿大学の学生や神戸大学の大学院生がボランティアで活動支援に来てくださいました。

また、1月には恒例のこうべアイウォークにて、豚汁を提供しました。

2014年度受入状況

日	学校名	生徒 (人)	教員 (人)	時間 (h)	場所	語り部 (人)
5/15	岐阜県 各務原市立中央中学校	70	4	1.5	長田区役所	4
5/21	静岡県 静岡市立清水第二中学校	232	15	1.8× 2回	長田公民館	4
5/28	山口県 周南市立周陽中学校	142	8	2.3	長田区役所	5
9/16	NPO ふたば「学生による震災20周年記憶のフラット化プロジェクト」	大学生20	スタッフ5	2	まち・コミュニケーション	4
10/22	愛知県 愛知県立春日井高等学校	318	15	1.7	地域人材支援センター	5
11/13	兵庫県 加古川市立両荘中学校	12	1	1.25	まち・コミュニケーション	5
11/20	岡山県 倉敷市立多津美中学校	28	2	4	まち・コミュニケーション	6



・ 研修受入事業

下記のとおり、研修の受入をいたしました。

日	受講者	テーマ・目的	人数
2/13	京都大学国際交流科目、関西大学社会安全学部河田研究室	災害復興について学ぶ研修で、ニューヨーク、ニューオリンズを訪問する。阪神・淡路大震災について学びたい	7
2/14	愛知県産業廃棄物協会	阪神・淡路大震災からの復興、ガレキ撤去の状況を知る。	31
3/19	松山大学人文学部石川ゼミ	御蔵地区の現状、復興過程、現在課題	12
5/8・9、 22・23	神戸学院大学	防災まちづくり	80
5/17	田老被災者支援団体 Umashika 神戸大国際協力 研究科災害法研究グループ	阪神・淡路の復興過程で、被災者がどのように主体的に動いたか	12
6/11	復興大学コーディネーター、 石巻市の NGO	復興調査受け入れ	3
7/18	陸前高田 住民	区画整理事業について	1
8/6	専修大学 飯孝行ゼミ	離半島部の復興と仮設住宅住民と交流	20
9/9	石川県県民ボランティアセンター	神戸震災から学ぶ石巻での町づくり	40
10/1	兵庫県豊岡市会議員	自治体の災害対策	4
11/11	気仙沼さかなの駅協同組合	阪神・淡路大震災から 20 年で神戸長田は何がどうなったのか	7
11/12	神戸大学キャンパスアジア プログラム	阪神・淡路大震災と復興まちづくり、住民の移動について	7
11/23	大阪経済大学遠州ゼミ 1 年 生	まち・コミによる阪神・淡路大震災復興 支援の経験など	13



▲ 8月6日



▲ 11月12日

・ 講師派遣事業

依頼に応じ、下記のとおり講師・パネリストの派遣をいたしました。

日	主催者	行き先	テーマ	講師等	受講者数
3/12	豊中まちづくり会社	北おおさか信用金庫本町支店セミナー室	<現地報告>東日本大震災から3年の現実～進まぬ復興、葛藤する地域社会～	宮定章	15
4/15	新潟市立白根北中震災講話	ホテルモントレー大阪	震災体験	田中保三	126
4/22	関西大学 菅磨志保ゼミ四回生	関西大学	自分の気持ちで“出来”が決まる（現地調査のアドバイス）	戸田真由美	15
5/12	日本法社会学会	大阪大学	復興事業において被災者の生活再建やまちづくり協議会の変遷から見たこと	宮定章	50
5/17	地域安全学会	人と防災未来センター	復興事業中の生活再建から見たことー阪神・淡路大震災（長田区御蔵地区）と東日本大震災（石巻市雄勝町）を比較してー	宮定章	50
6/27	復興の輪ミーティング・宮城県仙台市若林区（受入主体：神戸まちづくり研究所）	神戸市勤労会館	復興まちづくり、コミュニティについて	戸田真由美	15
7/3	徳島県美波町	徳島県美波町	復興事業において被災者の生活再建やまちづくり協議会の変遷から見たこと	宮定章	30
7/18	日本災害復興若手の会	東北大学 青葉山キャンパス	復興事業において被災者の生活再建やまちづくり協議会変遷から見たこと 阪神・淡路大震災の復興まちづくりに19年間ほぼ常駐で関わって	宮定章	30

8/1	にいがた市民大学	クロスパルに いがた	復興まちづくりー阪 神・淡路大震災から学 ぶ	田 中 保三	50
8/30	関西アセスメント協 会	弁天町クロス ベイタワー集 会所	大切な家族と地域を守 るために	田 中 保三	25
9/13	連続シンポジウム実 行委員会	神戸市立地域 人材支援セン ター多目的室	社会に新しい可能性を ひらく市民力	宮 定 章	40
10/24	日本災害復興学会	新潟県長岡市	集落復興に必要な視点 を考える	宮 定 章	70
11/11	首都大学東京	首都大学東京	復興事業において 被 災者の生活再建と葛藤	宮 定 章	10
11/22	神戸松蔭女子学院大 学くらし・まちデザイ ン研究会	神戸松蔭女子 大学	災害資本主義と「復興 災害」ー人間復興と地 域生活再生のために	宮 定 章	50
11/29	国立大学法人徳島大 学	石巻より美波 町ヘインター ネット出演	宮城県石巻市雄勝町の 被害と復興	宮 定 章	50
12/12	阪神白地市民まちづ くり支援ネットワー ク	神戸市勤労会 館	阪神淡路大震災 20 年 にあたってー震災復興 まちづくりと私の活 動、そして東北の復興 を思うー	宮 定 章	10

・まちづくり勉強会事業

当団体主催の勉強会を1回開催いたしました。

日	名称	テーマ	講師	受講者数
7/25	第22回御蔵学校	阪神・淡路大震災から20年目を迎える神戸の経済動向について	鉢村健氏 (日銀神戸支店長)	17

● 交流の場づくり部門

・地域間交流事業

野菜作りを通じ、鳥居やすらぎ市民農園 や 地元 NPO 暮らしの楽校 の～らの方々と交流をしました。「助けるとともに助けられ」と、地元の方々や食べて頂ける応援団に支えられながら、継続できています。



・国際交流事業

3月には、台湾の国際学会にて、神戸・東日本の復興の状況を報告し、アジアの方々と交流しました。

陳舜臣アジア文藝館の設立支援を行い、5月6日にプレオープンしました。

台湾の大河文化基金会（邱明民代表）が、岩手県西和賀町の古民家を解体し、台湾に移築する事業を行い、8月から10月にかけて当団体はその支援をいたしました。

● 情報発信部門

・情報発信事業

①季刊まち・コミ

4号、各号6ページの通信誌を発行いたしました。賛助会員、最近出合った方、事務所の来客等に配布いたしました。

号	発行日	特集タイトル	郵送数
2014年春号	4/30	東日本・神戸・出石 まち・コミのこの一年ー2013年度活動報告ー	352
2014年夏号	7/15	参加者募集！ 学生有志と地域を学ぶ合宿ー三陸沿岸の漁村にてー	372
2014年秋号	9/29	浜の持続性を考えるための地域生活調査ー東日本大震災の三陸沿岸の町で、学生有志と夏合宿 報告ー	413

2014年冬号	12/5	震災後の20年を振り返るー田中保三理事 ロドニー 賞受賞記念ー	366
---------	------	------------------------------------	-----

②WEB まち・コミ <http://park15.wakwak.com/~m-comi/>

まち・コミュニケーションのパンフレット、「季刊まち・コミ」のPDFデータ版、2013年度活動報告、2013年度計算書類等、必要に応じて情報のアップと更新を行いました。

③まち・コミブログ

日々の活動を中心に、活動を報告しています。2014年度は70本の記事をアップしました。また、ブログの内容はフェイスブックやツイッターへも転送し、多くの方の目に留まるようにしています。フェイスブックにおいても、日々の活動を報告いたしました。

④まち・コミメールニュース

5回、下記内容のメールニュースを送信いたしました。

送信日	内容	送信数
5/16～5/25	たまねぎ購入応援者募集／季刊まち・コミ冬号 WEB アップ 他	2834 通
6/18～6/23	じゃがいも・枝豆購入応援者募集／御蔵学校開催／調査参加者 募集 他	2870 通
8/13～8/22	季刊まち・コミ夏号 WEB アップ／facebook はじめました。他	2978 通
10/2～10/8	黒大豆の枝豆購入応援者募集／「季刊まち・コミ」秋号を WEB アップ ほか	3017 通
12/29～12/30	1.17 のご案内／御蔵学校開催！／「季刊まち・コミ」冬号を WEB アップ ほか	3044 通

【事業実施体制】

(1) 会議に関する事項

①通常総会

開催日 平成26年2月22日 17時25分から17時35分

開催場所 兵庫県神戸市長田区御蔵通5丁目211-4号-101(当法人事務所)

出席者 12名(うち表決委任者7名)

議事内容 第1号議案 2013年度事業報告および2013年度決算報告承認の件
第1号議案 役員選任の件

③理事会

開催日 平成26年2月22日 16時00分から17時25分

開催場所 兵庫県神戸市長田区御蔵通5丁目211-4号-101(当法人事務所)

出席者 9名(うち表決委任者5名)

議事内容 第1号議案 2013年度事業報告および2013年度決算報告承認の件
第2号議案 2014年度事業計画および2014年度活動予算承認の件
第3号議案 会員規約承認の件

開催日 平成26年2月22日 17時35分から17時40分

開催場所 兵庫県神戸市長田区御蔵通5丁目211-4号-101(当法人事務所)

出席者 9名(うち表決委任者5名)

議事内容 第1号議案 代表理事及び副代表理事選任の件

④事務局会議 月3~4回 出席者：宮定章、田中保三、戸田真由美

(2) 事務局体制

代表理事 宮定章 理事 戸田真由美

(3) 会員

① 正会員 14名

② 賛助会員 168名

③ 購読会員 10名